

## 単元名 言葉について考えよう

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くとともに、様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。
- (2) 自分の考えとそれを支える理由や事柄との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
- (3) 相手に伝わる文章を書くための語句を増やして、それを使って伝えたいことを文章にしようとする。

## 標準的な展開例

03010305\_001

【教材名】 つたわる言葉で表そう (下 P.105～P.108)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1～3 伝えたいことをうまく伝えるための言葉の選び方を知る。</p> <p>★相手に伝わる文章を書く工夫を知ろう。</p> <p>○教科書(P.105)を読み、自分の伝えたいことがうまく伝わらなかった経験について話し合う。</p> <p>○教科書(P.106)の田中さんの運動会の感想を読む。</p> <p>○教科書(P.107)を読んで、自分の気持ちや表したい様子に合う言葉を選ぶことが大事であることを理解する。</p> <p>4～5 言葉を選びながら、相手に伝わる文章を書く。</p> <p>★相手に伝わる文章を書こう。</p> <p>○冬休みの出来事とそのときの気持ちを200字で書く。</p> <p>○文章を読み合い、感想を交流する。</p>	<p>・くわしく思い出すことが大切であることに気付かせる。</p> <p>【評】言葉の選び方について考える活動を通して、語彙を豊かにする「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】出来事とそのときの気持ちを書く活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・よく伝わる部分とそうでない部分を教え合わせる。</p>

【 備 考 】